

## ■ 誰もが自慢し、誰もが誇れるまちをめざして

てしかがえこまち推進協議会は、「誰もが自慢し、誰もが誇れるまち」を目指し、観光を機軸としたまちづくりを進める団体です。

屈斜路湖や摩周湖をはじめ美しい景勝地を有する弟子屈町は、自然豊かな観光資源に恵まれた町です。訪れるお客様に魅力を感じていただくためには、まずはこの町に暮らす私たちひとりひとりが、町の魅力を見つめ直し、私たち自身が心豊かに暮らせるまちづくりを実現していくことが大切。町民誰もが「自慢し」「誇れる」まちを目指し、さまざまな活動を続けています。

## ■ 持続可能な取り組みを

「えこまち」の「えこ」には、ecology（環境保全）とeconomy（経済）の二つの意味があります。観光を機軸に、農業、商業、工業などさまざまな分野が活気づき、町の中で人や物、お金が循環するような仕組みを考え、実践していきたいという想いが込められているのです。

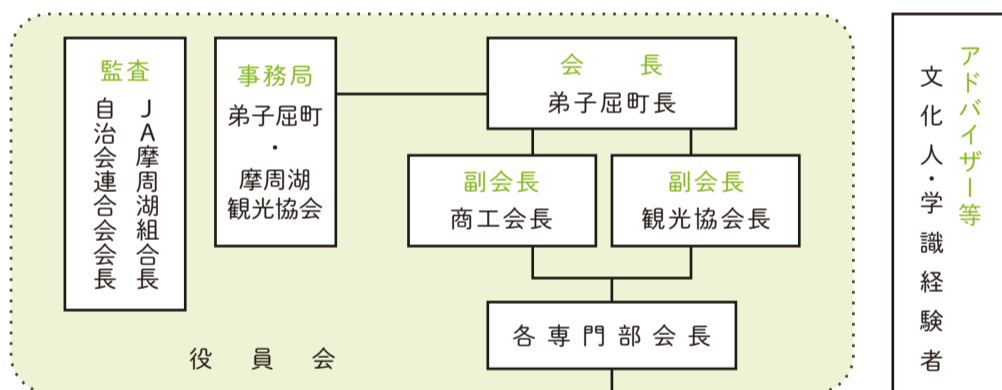
弟子屈町では、人口の約7割が第3次産業に従事しています。多くの産業に波及効果の見込まれる観光業の活性化をテーマに活動することで、広く横のつながりを大切に、町一体となった取り組みにできるのではないかと考えています。

## ■ 「誰かが」ではなくて「自分が」

町全体のことを考えていく協議会には、さまざまな職種の人たちが居なくては。そんな考えから、構成する団体は観光協会、商工会、農協など町内の各団体の皆さん。そして実際の活動を行っていく8つの専門部会は、観光事業者はもちろん、会社員、主婦、農家の方、飲食店や役場職員などさまざまな立場の人が集まっています。（下段構成図参照）

まちづくりに対するアイデアを生かせる場、それが「えこまち」。住民自らが責任を持って決断し、実行できる組織です。「誰かがやってくれる」から「自分がやろう」へ、「えこまち」という組織が出来たことで意識の変化が起きました。

## てしかがえこまち推進協議会 構成図



### 協議会 構成員

#### 構成団体

- 弟子屈町
- 弟子屈町教育委員会
- 弟子屈町商工会
- 摩周湖農業協同組合
- (一社) 摩周湖観光協会
- (株) 弟子屈町振興公社
- 弟子屈町自治会連合会
- てしかが郷土研究会

#### 専門部会

- エコツーリズム推進部会
  - てしかがスタイルのエコツーリズム推進全体構想運営委員会(※)
- 温泉街部会
- 人材育成部会
- 食文化部会
- 女性部会
- ユニバーサルデザイン部会
- 情報部会
- アート部会

※てしかがスタイルのエコツーリズム推進全体構想運営委員会は、以下の機関の関係者により構成されています。

(■関係機関：屈斜路カルデラ自然ふれあい推進協議会、自然公園財団、阿寒摩周国立公園川湯地域運営協会、屈斜路湖適正利用連絡協議会、NPO法人北海道ウォーキングネットワーク、釧路川流域ネットワーク、摩周温泉旅館組合、摩周の郷ペンション民宿等ネットワーク、弟子屈町森林組合、津別町、美幌町、大空町、小清水町 ■指導・助言・支援：環境省釧路自然環境事務所阿寒摩周国立公園管理事務所、林野庁北海道森林管理局根釧西部森林管理署、釧路開発建設部釧路河川事務所、弟子屈消防署、弟子屈消防署川湯支署、弟子屈警察署、国土交通省釧路運輸支局、釧路総合振興局、玉川大学)

## お問合せ

## てしかがえこまち推進協議会

事務局（弟子屈町役場観光商工課内）

☎ 015-482-2940 (受付) 土日祝を除く 9:00-17:00

FAX 015-482-5669

〒088-3292 北海道川上郡弟子屈町中央2丁目3番1号  
弟子屈町役場観光商工課

ecomachi@masyuko.or.jp

https://teshikaga-ecomachi.studio.site/



公式サイト



弟子屈なび



## これまでの「えこまち」の取り組み

協議会の活動は、8つの専門部会それぞれの行う取り組みが主体になりますが、それ以外にも「えこまち」全体として取り組んできたことをご紹介します。（※各専門部会の活動については裏面をご参照ください）

### てしかが観光塾の開催

地域の観光振興を担う人材の育成を目的に、2008年より毎年開催しているのが、てしかが観光塾。「北海道弟子屈から観光の未来を拓く」と題し、年ごとに異なるテーマを設定。テーマに沿った講義内容を全員で協議し、開催しています。副塾長の山田桂一郎さんや、特別講師の藻谷浩介さんの講演をはじめ、分かりやすく、実践につながるきっかけとなるような講座となるよう、工夫をこらしています。



3日間を通して、基調講演から選択講座までさまざまな講座を受講し、観光について学ぶだけでなく、全国からやってきた塾生たちと交流を深めます。

### エコツーリズムの推進

エコツーリズムとは、地域にある自然・文化・暮らしなどの特色を地域振興や環境保全に生かしていく仕組みのこと。「地域らしさ」を大切に旅をつくりだす理念とも言えます。エコツーリズムを推進していくことで、自然環境を守り、活用しながら地域振興をはかるとともに、旅行者にとっても地域とふれあい、学ぶ機会となることをめざしています。自然豊かな弟子屈町で、この町ならではのエコツーリズムを推進していくために、「えこまち」としてさまざまな取り組みを行っています。



### ○ エコツーリズム推進全体構想の認定

「エコツーリズム推進全体構想」とは、エコツーリズムを推進するために定める地域の指針のこと。定めた全体構想は国の認定を受けることができ、認定を受けると、地域資源の保護などを地域独自に実施していくことが可能となります。弟子屈町でも「てしかがスタイルのエコツーリズム推進全体構想」をまとめ、2016年に環境省より認定を受け、北海道では最初の認定地域となりました。



### ○ アトサヌプリトレッキングツアー

2020年、全体構想を変更し、硫黄山の噴気孔を特定自然観光資源に指定しました。同時に、認定ガイド制度を創設し、認定ガイドによる硫黄山ツアー「アトサヌプリトレッキングツアー」の販売を開始しました。現在、硫黄山はエコツーリズム推進法に基づく立ち入り制限がかけられ、同ツアー以外での立入は認められていません。

エコツーリズムとは、地域にある自然・文化・暮らしなどの特色を地域振興や環境保全に活かしていく仕組みのこと。弟子屈らしいエコツーリズムのスタイルを確立し、次世代のためにも地域全体での取り組みとなるよう広めていくのが、エコツーリズム推進部会の部会目標です。

## エコツーリズムによるまちづくりを

### 主な取り組み

- てしがスタイルのエコツーリズム推進全体構想に関する取り組み
  - ・全体構想運営委員会の主管（モニタリングの実施、ツアー造成に向けた取り組み、広報活動等）
- アウトドアガイドの質の向上と養成
  - ・てしが野外活動スキルアップ講習会の開催（レスキュー講習会、リスクマネジメント講座等）



講習会の内容は、保険や法律に関することや新しい技術に関する座学のほか、レスキュー訓練を行うこともあります。

## エコツーリズム推進部会

部会長  
藤原 仁

てしがが野外活動スキルアップ講習会では、座学や実技などを通し、アウトドアガイドの質の向上をめざします。



年齢、障害の有無、性別、人種などに関わらず、多様な人が利用しやすい環境のデザインを「ユニバーサルデザイン」（以下UD）といいます。「多様性」「誰一人取り残さない」をキーワードに、世界中の人々が「行きたい」と思う観光の町、多様な人々が「生きたい」と思う住みよい町になるようUDの普及と実践を行っていきます。

## 住んで・迎えて ユニバーサルなまちづくり

### 主な取り組み

- 町内向けの活動
  - ・ユニバーサルデザインの普及
  - ・ユニバーサルデザインの学びや理解を深める
  - ・既存・新設の施設に対するチェックや提言
  - ・町内外の他団体との連携
- 町外向けの活動
  - ・バリアフリーマップの作成
  - ・町内UDツアーへのアドバイスやサポート

気楽なお話を開きました。UDの認知度を上げ、理解を深めるのがねらいです。



調査結果を活かしたバリアフリーマップの制作も行っています。



町内各施設のトイレなどを調査し、使い勝手などを検証しています。



## UD ユニバーサルデザイン部会

部会長  
藤原 俊和

部会目標は、食を通して地域の価値を高めること。地域内の自給率を高め、「弟子屈ならではの食」の良さを伝えたいと、さまざまな印刷物を発行するほか、町民向けや事業者向けの講習会を開催しています。また地域の食文化の聞き書き活動やイベント出展なども行っています。

## この町ならではの食を大切に

### 主な取り組み

- 地場産メニューのガイドブック作成
- 町民向けの地場産品活用促進事業
  - ・講演会、講習会の実施
  - ・農業祭への出店（地場産野菜の天ぷら店）
  - ・野菜活用ガイド等の発行
- 事業者向けの地場産品活用促進事業
  - ・地場産レシピ講習会の実施
  - ・町内イベントでのメニュー考案
- 地域の食文化の「聞き書き」

地場産メニューのある飲食店ガイド「Made in てしが」は、Vol.1～4まで、毎年改訂を加えながら増刷し、道の駅等で配布しています。



地域の食文化を継承するための「聞き書き」も大切な活動。写真はカボチャ汁粉！

## 食文化部会

部会長  
木名瀬 佐奈枝

地場産品の活用を促進するため、町民の方を対象とした講演会や講習会、事業者対象の講習会などを開催しています。



部会目標は「We love Teshikaga! → 100%」 地域に暮らす人は、マチにとっての財産。だから人材ではなく、人財。町民ひとりひとりが、まちを自慢できる「何か」を持てるように、さまざまな取り組みを通し、町の良さを再認識する事業を行っています。

## 弟子屈大好き！な人を増やしたい

### 主な取り組み

- 町内の子ども達がふるさとの良さを知る
  - ・弟子屈高校との連携（英語での観光ガイド）
  - ・小中高校生向けの星空観望会
  - ・町内小学校向けのアトサヌプリトレッキング（エコツアー部会と連携）
- 町民が地元の価値を再認識できる取り組み
  - ・気軽に大人が集まれる場を作る（ファシリテーション講習会の開催）

子ども星空観望会。夜の摩周湖に出かけて星空を眺めます。子どもたちが大人になっても忘れられない景色であることを願っています。



認定ガイド同行でのみ入山できるアトサヌプリトレッキングツアーを町内の小学生にも体験してもらいます。

## 人財育成部会

部会長  
萩原 寛暢

女性ならではの知恵と行動力をまちづくりにつなげたい！そんな思いで活動する女性部会。観光客の人に喜んでもらえる「外に向けたプラン」と、町の人に楽しんでもらえる「内に向けたプラン」のどちらも大切にしながら、地域に根ざした丁寧な活動を心がけています。

## 女性ならではの目線を生かして

### 主な取り組み

- 地域の宝さがし！
  - ・弟子屈の「さらりスポット」を発信
  - ・写真の撮り方講習会の開催
  - ・地域の歴史を残す「昔語り」（お話は手作り冊子にまとめ配布中です）
- ツアー作り
  - ・女性ならではの感性を生かしたツアーの企画
  - ・「街コン」の開催（※他団体との連携事業）
- 女性の交流を増やす取り組み（物々交換会）



地元のステキな場所をお伝えしたくて手作りした「いとこまっぷ」は、主に川湯温泉地区のお店などで配布中です！

みんなが弟子屈の情報をステキに発信できるようになればと、地元で活躍する写真家を講師に写真講習会も開催しました。



## 女性部会

部会長  
高梨 ひとみ

活動のメインは毎年2月2日から一ヶ月間開催される極寒芸術祭。マイナス20度にもなる真冬の森に40あまりの作品が展示される世界でも類を見ない極寒の野外美術館です。2021年には古民家を改装した遊郭昭和美術館もオープン。演劇、ライブなど様々なイベントも開催されています。

## 世界に誇れる自然とアートのコラボが

### 主な取り組み

- 極寒芸術祭の毎年開催
- アーティストによる芸術授業
- パフォーマーによる慰問活動
- 海外アーティストの招聘&レジデンス事業

アート部会主催のイベントは、国内外からの観光客1000人以上が鑑賞。またTOKYO ArtBeatで日本の芸術祭10選に選定されたほか、ジャパントイムスでも紹介されました。



Lua Rivera (Mexico) onibiと町内のこども達



世界中から集まったアーティスト達

## アート部会

部会長  
今井 善昭

弟子屈町の観光ポータルサイト「弟子屈なび」や、同サイトのFacebookページの運営など、町内外へ向けた情報発信を担っています。コンセプトは「生の弟子屈情報をえこまちで発信する！」。より分かりやすく効果的な情報発信について学ぶための「情報セミナー」なども開催しています。

## 旬の弟子屈情報を町内外へ発信

### 主な取り組み

- 弟子屈町公式チャンネルと連携した町内情報の発信
- 町内情報発信者との情報共有
- 情報発信セミナーの開催
- SNSの使い方講座の開催



## 情報部会

部会長  
川上 椋輔

温泉資源の豊富な弟子屈町。地域の環境保全や、温泉街の魅力を向上させることを目的に活動しています。年に2回の温泉川清掃や植樹活動などの活動を続けながら、未来の温泉街をイメージするランドデザインの立案と実現をめざします。

## 温泉街の活性化をめざす

### 主な取り組み

- 温泉街をきれいにする活動
  - ・温泉川の清掃（年に2回）
  - ・植樹活動
- おもてなし力の向上
  - ・地域のさまざまな方を講師に弟子屈を学ぶ「つなげよう弟子屈」講座を開講（不定期）
- ONSEN ガストロノミーの推進
- 未来の温泉街の姿についての検討



川湯温泉街を流れる「温泉川」の清掃風景。単に掃除をするだけでなく、将来ビジョンを考える大切なひとときです。

「つなげよう弟子屈」のひとこま。町内の林業従事者の方を講師に、森について学んでいます。



## 温泉街部会

部会長  
松山 裕一